

Canon EFS LENS

EF-S18-55mm f/3.5-5.6 IS



IMAGE STABILIZER

JPN
使用説明書

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

EF-S18-55mm F3.5-5.6 ISはEF-Sレンズ対応デジタル一眼レフカメラ*用に開発された、手ブレ補正機能を備えた高性能標準ズームレンズです。

手ブレ補正機能は、遅いシャッター速度の手持ち撮影において威力を発揮します。

* EF-Sレンズ対応デジタル一眼レフカメラは、2010年2月現在、EOS 7D、EOS 50D、EOS 40D、EOS 30D、EOS 20D、EOS 20Da、EOS Kiss X4、EOS Kiss X3、EOS Kiss X2、EOS Kiss F、EOS Kiss デジタル X、EOS Kiss デジタル N、EOS Kiss デジタルです。他のEOSカメラには装着できません。

● ISはImage Stabilizer（手ブレ補正機能）の略称です。

特長

1. シャッター速度換算で、約4段分*の手ブレ補正機能を備えています。
また撮影状況（静止した被写体の撮影、流し撮りなど）に応じて最適な手ブレ補正を行います。
2. 非球面レンズを採用することにより、優れた描写性能を実現しています。
3. ズーム全域で0.25mまでの近接撮影ができます。
4. 円形絞りの採用により、なめらかで美しいボケ味が得られます。

* $[1/(\text{焦点距離} \times 1.6)]$ 秒を基準にしています。
一般に手ブレを防ぐためには「 $1/\text{焦点距離}$ 」秒以上のシャッター速度が必要といわれています。（35mmフォーマットの場合。EF-Sレンズの場合は「 $[1/(\text{焦点距離} \times 1.6)]$ 秒」となります。）

安全上のご注意

- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。特に、レンズ単体で直接太陽をのぞかないでください。失明の原因となります。
- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラを日光の下にレンズキャップを付けないまま放置しないでください。太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

- レンズを寒いところから暖かいところに移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。レンズの故障の原因になることがありますので、このような場所にレンズを放置しないでください。

本文中のマークについて

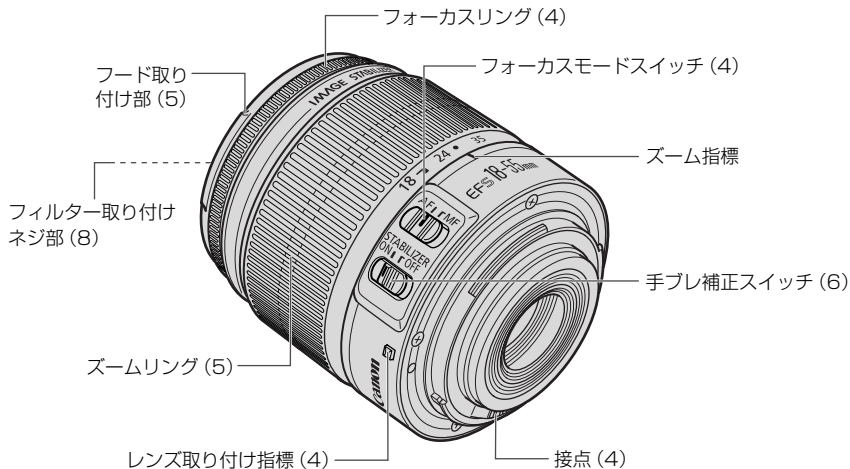


撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書かれています。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

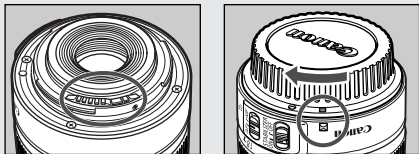
各部の名称



(**)の**部は参照ページを示しています。

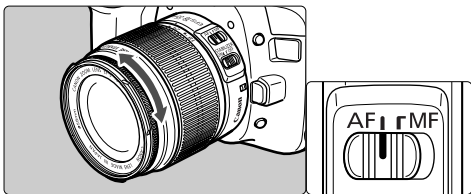
1 レンズの着脱

レンズの着脱方法については、カメラの使用説明書を参照してください。



- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。
- 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。
- 汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
- レンズを外したときは、ダストキャップを付けてください。取り付けは、図のようにレンズ取り付け指標とダストキャップの口の指標をあわせて時計方向に回します。取り外しは、逆の手順で行います。

2 フォーカスモードの設定



オートフォーカスで撮影するときは、フォーカスモードスイッチをAFにします。
手動でピント調整を行うときは、フォーカスモードスイッチをMFにし、フォーカスリングを回します。

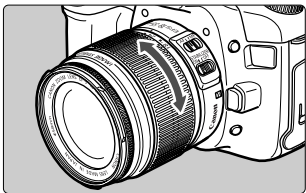


- オートフォーカスの作動中は、レンズの回転部分に触れないでください。
- フォーカスモードスイッチがAFのときは、手動でのピント調整はできません。



フード（別売）を取り付けた場合、フードを回転させてピント調整ができます。

3 ズーミング

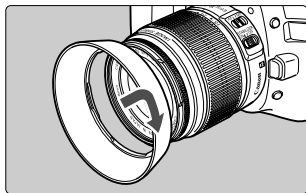


ズームリングを回転させてズームリングします。

- ⚠ ピント調整は、ズームしたあとで行ってください。ピント調整のあとでズームすると、ピント誤差を生じることがあります。

4 フード (別売)

レンズフードEW-60Cは、有害光線をカットするとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。



フードを矢印の方向に回して確実に取り付けてください。

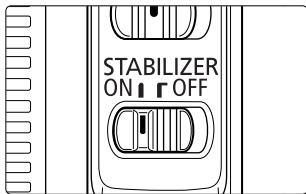
収納時にはフードをレンズに逆向きにかぶせることができます。

- ⚠
- フードの取り付けや取り外しをするときは、フードの根元を持って回してください。フードの先の方を持つと変形して回らなくなることがあります。
 - フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じることがあります。
 - カメラの内蔵ストロボを使用するときはフードを外してください。ストロボ光にケラレが生じることがあります。

5 手ブレ補正機能

手ブレ補正機能は、フォーカスモードがAF/MFどちらの場合でも使用できます。

また撮影状況（静止した被写体の撮影、流し撮りなど）に応じて最適な手ブレ補正を行います。



1 手ブレ補正スイッチをONにします。

- 手ブレ補正機能を使用しないときはOFFにします。

2 シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正機能が働きます。

- ファインダー像が安定したことを確認してから、シャッターボタンを全押しして撮影します。

- 被写体が動いてしまう「被写体ブレ」は補正できません。
- 大きく揺れ動く乗り物から撮影するときは、手ブレ補正効果が十分に得られないことがあります。
- 手ブレ補正機能を使用すると、通常より電力が必要なため、撮影可能枚数が少なくなります。

- 静止した被写体の撮影では、すべての方向の手ブレを補正します。
- 水平方向の流し撮りのときは上下方向の手ブレ、垂直方向の流し撮りのときは左右方向の手ブレを補正します。
- 三脚を使用した場合も支障なく撮影できますが、バッテリーの消費を防ぐため手ブレ補正スイッチをOFFにすることをおすすめします。
- 一脚を使用した場合も、手持ち撮影と同等の手ブレ補正効果があります。
- 手ブレ補正機能はエクステンションチューブEF12 II、EF25 II を使用しても作動します。
- カメラのカスタム機能でAF作動操作を変更したときは、変更後のAF作動ボタン操作でも手ブレ補正機能が作動します。

手ブレ補正機能

このレンズの手ブレ補正機能は、次のような条件の手持ち撮影で効果を発揮します。

- 夕景や室内などの薄暗い場所
- 美術館や舞台などのストロボ撮影が禁止されている場所
- 足場が不安定な状況
- その他、速いシャッター速度が使用できない状況
- 移動する被写体を流し撮りする場合



OFF



OFF

6 フィルター（別売）

フィルターは、レンズ先端のフィルター取り付けネジ部に取り付けてください。



- レンズ先端部は回転するため、フィルターの取り付けはレンズ先端部を持って行ってください。
- フィルターは1枚のみ使用できます。
- フィルターはキヤノン純正フィルター（58mm）を使用してください。
- 円偏光フィルターの調整操作は、フードを外して行ってください。

7 エクステンションチューブ（別売）

エクステンションチューブEF12 II、EF25 II を使用して拡大撮影ができます。撮影距離範囲と撮影倍率は次のようになります。

	撮影距離範囲(mm)	撮影倍率(倍)			
		近距離側	遠距離側	近距離側	遠距離側
EF12 II	18mm	使用できません		使用できません	
	55mm	205	378	0.64	0.23
EF25 II	18mm	使用できません		使用できません	
	55mm	196	266	1.00	0.51



正確なピント合わせのため、手動でのピント調整をおすすめします。

8 クローズアップレンズ (別売)

クローズアップレンズ250Dまたは500D(58mm)を使用して拡大撮影ができます。
撮影倍率は次のようになります。

- クローズアップレンズ250D：
55mm側で使用できます。(撮影倍率は0.22～0.49倍)
- クローズアップレンズ500D：
使用できます。(撮影倍率は0.04～0.42倍)



正確なピント合わせのため、手動でのピント調整をおすすめします。

9 主な仕様

画面サイズ	15.1×22.7mm
焦点距離・明るさ	18-55mm F3.5-5.6
レンズ構成	9群11枚
最小絞り	F22-38*
画角	対角 74°20'~27°50'、垂直 45°30'~15°40'、水平 64°30'~23°20'
最短撮影距離	0.25m
最大撮影倍率	0.34倍 (55mm時)
画界	約134×207mm~45×67mm (0.25m時)
フィルター径	58mm
最大径×長さ	68.5×70mm
質量	200g
フード	EW-60C (別売)
レンズキャップ	E-58
ケース	LP814 (別売)

* 数値は絞り表示が1/2段ごとの場合です。1/3段ごとの場合はF22-36となります。

- 35mmフォーマット換算での焦点距離イメージは29-88mmとなります。
- レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。キャップおよびダストキャップをつけたときの長さは、表示寸法+21.5mmになります。
- 大きさ、質量は本体のみの値です。
- 絞り値はカメラ側でセットします。ズーミングによる絞り値の変化はカメラが自動的に補正します。
- エクステンダーEF1.4X II/EF2X II は使用できません。
- 記載データはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、製造終了後7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、キヤノンサービスセンターにお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン EFレンズホームページ

canon.jp/ef

キヤノンお客様相談センター

050-555-90001 (直通)

受付時間〈平日〉9：00～20：00 〈土/日/祝〉10：00～17：00 〈1/1～3は休ませていただきます。〉

※ 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は03-3455-9353をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon